



# サステナブル インパクトレポート

2020 エグゼクティブサマリー



「ビジネス史において  
今この瞬間以降、企業  
は単に生み出す利益の  
みで評価されるのでは  
なく、社会のために生  
み出す価値でも評価さ  
れるでしょう。」

社長兼CEO エンリケ・ロレス

# 社長兼CEOからの メッセージ

「私たちは、人類の進歩に刺激を与えるテクノロジーを創造するという信念によって団結しています。」



**20年前**、私たちは初めて環境的・社会的インパクトレポートを発表しました。このようなレポートを発表したのは、企業の目的は利益を得ることだけではないという考えに基づいてHPが創業されたためです。私たちは創業当初から、人類に役立つテクノロジーを創造することで、ビジネスと社会が手を取り合って成長できる環境を作り出せると信じてきました。

年を追うごとに、私たちはこの信念へのコミットメントを深めてきました。その結果、HPはさらに強力な企業になり、より持続可能なインパクトを世界に与えています。

しかしながら、私たちの取り組みはまだまだ終わりません。次の10年間に目を向けると、現代ビジネス史において極めて重要な10年に突入しつつあることは明らかです。

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行は、今なお世界中で困難と苦痛を引き起こしています。気候の変化は多くの地域社会を破壊し、私たち皆が共有する地球の未来そのものを脅かしています。そして私たちは、長らく先延ばしにしてきた、あまりにも多くの人々から可能性を奪ってきた根深い不平等や不公平の清算という課題に直面しています。

これらはすぐには克服できない厳しい課題ですが、私たちはこれらの課題を变化のきっかけとして捉えなければなりません。なぜなら、私たちが勇気と決意を奮い起こし、克服不可能とも思える障害に立ち向かえば、大きな飛躍を遂げることができるはずですし、実際にそうなるからです。

HPの目標は、世界で最も持続可能かつ公正なテクノロジー企業になることです。私は世界中のHPチームの仕事に誇りを持っています。このレポートでは、私たちの目標に対する進捗状況と、取り組みの強化が必要な分野について報告しています。

しかし、単に現状の取り組みを継続するだけでは、この時代の変化の大きさに対応できなくなります。私たちを取り巻く世界では変化のスピードが加速しているため、私たちが望む未来を創造するには、私たちの努力も加速しなければなりません。

私たちの前進を目的として策定された、HPの新しい2030 サステナブルインパクトのアジェンダは、HPの価値観に忠実であり、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) をサポートす

るとともに、HPのテクノロジー、人材、エコシステムが最大のインパクトを与えることのできる取り組みを優先しています。

今後10年間、HPは新たな進歩の時代を目指して戦います。それは、気候変動が食い止められ、人権が普遍的に保護され、デジタルエクイティによりあらゆる人々に平等な機会が与えられる新時代です。

## 気候行動

私たちは、業界で最も持続可能な製品とソリューションのポートフォリオを構築しながら、炭素排出量ネットゼロの完全再生型経済を目指します。

2040年までにHPのバリューチェーン全体で温室効果ガス排出量ネットゼロの達成を目標に、2030年末までに50%削減することを計画しています。2030年までに製品と梱包材の循環利用率75%を達成することを約束します。また、HPの用紙・紙製梱包材に関連する森林破壊ゼロを維持し、HPの製品とプリントサービスで使用されるHP以外の用紙による森林破壊を防止することを約束します。

## 人権

私たちは、HPのエコシステム全体で人権、社会正義、人種およびジェンダーの平等を推進しながら、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンを実現する力強い文化を創造します。

2030年までに、HPの幹部職で50対50のジェンダー平等を達成し、技術職およびエンジニア職において女性が30%以上になることを約束します。HP全体で、労働市場における人種および民族的マイノリティの構成と同等またはそれを超える人員構成を達成することを目標としています。また、サプライチェーン全体で、100万人の従業員に従業員エンバウメントプログラムを提供することを目指しています。

## デジタルエクイティ

デジタルテクノロジーは私たちの生活のほぼあらゆる側面を変容させており、ますます多くの人々が取り残されることが強く危惧されています。私たちはそうした状況を許容できません。HPは、あまりにも多くの人々が豊かに生活するうえで必要な教育、仕事、医療の機会を失っているデジタル格差を解消するよう努めます。

HPの目標は、2030年までに1億5000万人のデジタルエクイティを加速することであり、取り組みの一環として、HP Partnership and Technology for Humanity (PATH) アクセラレータープログラムを開始します。このプログラムは、世界中の教育や医療などの行き届いていない地域社会でデジタルエクイティとインクルージョンへの道を開くことに重点を置いています。

簡潔に言えば、私たちが気候、人権、デジタルエクイティに対して行っている積極的な行動は正しいことです。そして、こうした行動は利益を犠牲にして成り立っているという誤った考えをまだ支持している方には、お伝えすることがあります。HPのサステナブルインパクトのアジェンダは2020年に10億ドル以上の売り上げを獲得する要因にもなり、私たちは2年連続でこの大きな目標を上回りました。

いくつかの大きな社会課題を解決するためにHPが起きている行動は、地域社会を強化しながら、ビジネス全体のイノベーションと成長を促進するでしょう。

しかし、それには大きな努力と投資が必要であり、政府と民間の協働が必要となるでしょう。そして何よりも、私たちは、真により良い世界に変革することを目指して今この瞬間に立ち上がることができると思える必要があります。

HPの創業者の一人、デイブ・パッカーはそれを最もうまく言い表しました。「社会貢献は、少数の社員が担当する業務ではない。すべての社員が行うべきことである。」

結局のところ、この信念がHP全体で5万人を超える従業員の原動力となっています。私たちは、人類の進歩に刺激を与えるテクノロジーを創造するという信念によって団結するとともに、設定した目標を達成する責任を遂行します。これこそが「HP Way」であり、それはこれからもずっと続くものです。

よろしくお願いいたします。

社長兼CEO エンリケ・ロレス

05 新型コロナウイルス感染症への対応

06 表彰

07 説明責任

08 2030ビジョン

09 サステナブルインパクト戦略

10 2030目標

## 目次

### 人権

12



- 14 従業員のエンパワーメント
- 15 インクルージョンと  
帰属意識の文化
- 16 人種およびジェンダーの平等
- 17 人的資本
- 18 従業員エンゲージメント

### 気候行動

19



- 21 炭素排出量
- 22 循環性
- 25 森林

### デジタル エクイティ

26



- 28 教育
- 29 ヘルスケア
- 30 地域社会へのインパクト

33 目標と進捗

35 透明性と報告

36 将来予想に関する記述

37 巻末脚注

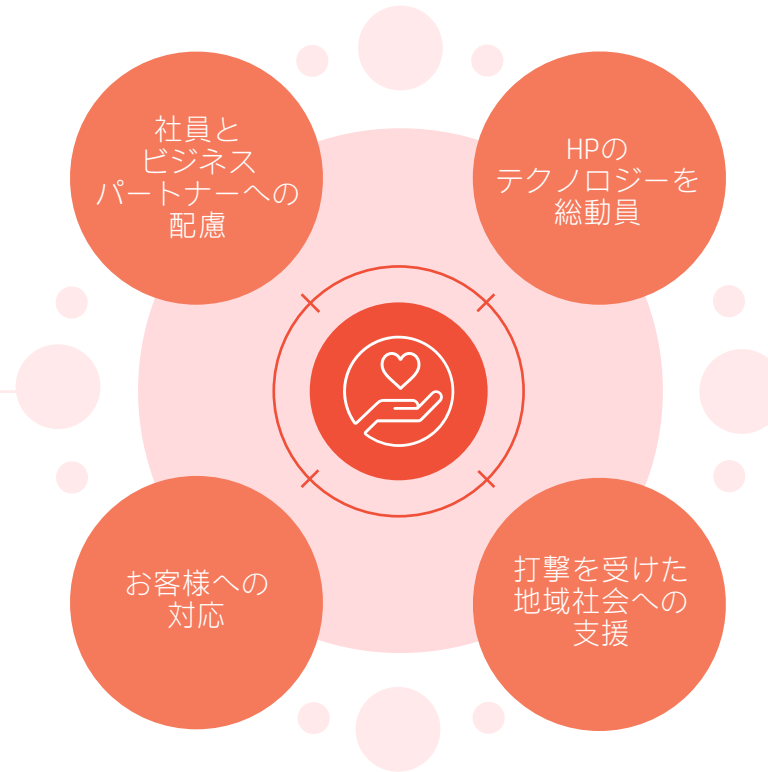


詳細は、[HPの2020サステナブルインパクトレポート](#)および[HP 2020 HUMAN RIGHTS UPDATE](#)をご覧ください。

# 新型コロナウイルス感染症の世界的大流行

- 可能な限り在宅勤務を義務付け
- 職場での安全手順の強化
- 心身の健康サポートと安定のためのHP Spirit and Well Beyondプログラム
- 時間給社員および特定の派遣社員に対する一定期間の継続給付金
- リモートワークのための技術的、人間工学的サポート
- パートナー向け短期インセンティブおよびサイバーセキュリティサポート

- 保証の延長
- 24時間365日のコンシェルジュサービス
- グローバルなサプライチェーンを活用し、多くのサプライヤーの協力のもと混乱を最小限に抑制
- HP Response to COVID-19 Guide for Customers and Partnersを発行



- グローバルなデジタルマニュファクチャリングパートナーネットワークを活用し、医療従事者や病院向けに3Dプリンターで必要不可欠な部品の設計と製造
- プリントサービスプロバイダーネットワークを活用して公衆衛生をサポート
- 治療およびワクチン研究のためにHPバイオプリンターを寄贈

- デジタル格差を解消するためのHP Turn to Learn印刷学習教材
- クラウドソーシングによるコンピューター寄付のためのHP Refresh
- 教育者向けHP Online Teaching Assistant
- HP Print、Play & Learnの印刷可能な無料の学習教材
- リモートスキル構築のためHP LIFE支援活動を強化
- HP、HP財団、社員による寄付と製品の寄贈

## 実績データ

**1300万ドル超**

HP製品提供

**300万ドル**

HP財団による寄付

**400万ドル超**

新型コロナウイルス感染症の封じ込めに重要な各種部品をHPとパートナーが3Dプリンターで製造

**15超**

3Dプリンティングアプリケーションを新規開発



詳細は、以下をご参照ください。  
**HP'S COVID-19 RESPONSE**

世界で最も持続可能な企業の  
1社に選出されています

サステナブルインパクト

ビジネスに  
必要不可欠

10億ドル超

サステナビリティ要件を満たす  
ことが考慮された新収益(2年連続)<sup>1</sup>

53,000人

年間目標設定プロセスの一環  
としてサステナブルインパクト  
の目標を設定した社員数

50%

HPは、HP Amplifyパートナーの  
50%が2025年までに自主的に  
Amplify Impactプログラムに  
登録するという目標を設定



<sup>1</sup>「World's Most Ethical Companies」および「Ethisphere」の名称とロゴはEthisphere LLCの登録商標です。

# 20年間にわたる 報告

HPは、2001年にHewlett-Packard Companyとして最初の Social and Environmental Responsibility Report を公開してから毎年報告を続けており、HP自身と業界の情報開示の水準を引き上げています。

透明性と説明責任は、国連の持続可能な開発目標のビジョンを達成するうえで極めて重要です。私たちは、気候変動に関連する企業活動の情報の一貫性、比較可能性、信頼性の向上を目指す動きと、外部で保証されたスコープ1、2、3の排出量の報告を義務付ける動きを支持しています。



## 透明性に関するマイルストーン

**初公開** - HP Social and Environmental Responsibility Report (2001年)

**初の登録企業の1社** - 世界経済フォーラムのグローバル温室効果ガス登録制度に登録 (2003年)

**初のIT企業** - 製品製造に関連する温室効果ガス排出量を公開 (2007年)

**初の大手IT企業** - トップサプライヤーのリストを公開 (2008年)

**初のIT企業** - サプライチェーンの製錬業者リストを公開するとともに、製錬業者識別プロセスを第三者機関によってレビュー (2013年)

**初のグローバルIT企業** - カーボンフットプリントを完全公開 (2013年)

**初の公開企業の1社** - ウォーターフットプリントを完全公開 (2014年)

**業界初** - リサイクルベンダーの拠点名と場所を公開 (2017年)

**HP初公開** - Human Rights Report (2020年)

**報告内容を整合** - 気候関連財務情報開示タスクフォースの推奨事項と整合 (2021年)

**導入** - 世界経済フォーラム国際ビジネス評議会 (IBC) のステークホルダー資本主義指標 (2021年)



## HPの2030ビジョン

私たちは、世界で最も持続可能かつ公正なテクノロジー企業になることを目指しています。

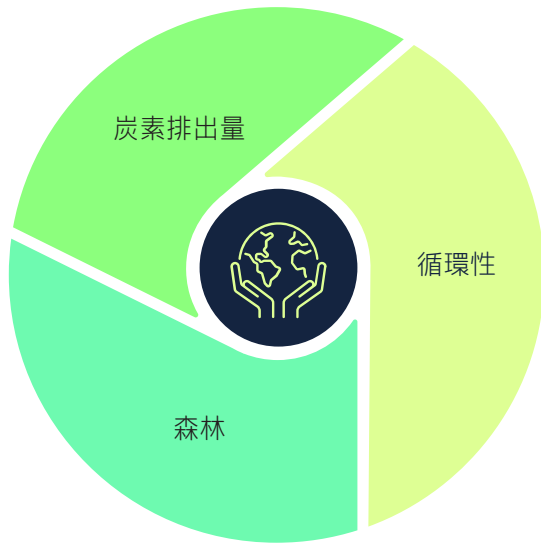


サステナブルインパクト

# HPの戦略

私たちは、科学的根拠に基づき、国連の持続可能な開発目標に沿った意欲的なアジェンダを策定しました。これは、HPがブランドとして最大のインパクトを与えることができる、現在最も明確で緊急の問題、つまり気候行動、人権、デジタルエクイティにHPをつなぐものです。

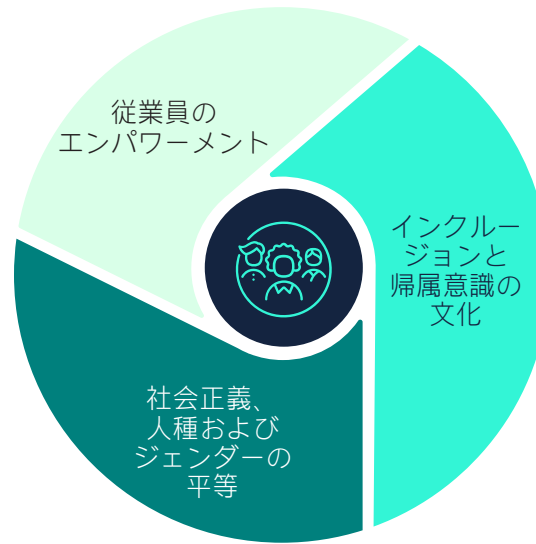
私たちは、HPのテクノロジー、人材、プラットフォームが最も力を発揮できる取り組みを優先し、HPのビジネスとエコシステムのあらゆる側面でサステナブルインパクトと目的を完全に統合する組織変革をサポートします。



PLANET

## 気候行動

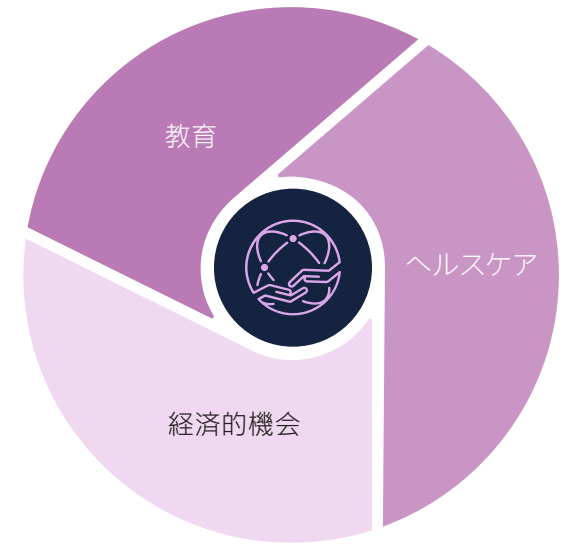
業界で最も持続可能な製品とソリューションのポートフォリオを構築しながら、炭素排出量ネットゼロの完全再生型経済の実現に向けて推進します。



PEOPLE

## 人権

強力なダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの文化を創造します。私たちのエコシステム全体で人権、社会正義、人種とジェンダーの平等を推進し、すべての人々の水準を上げます。



COMMUNITY

## デジタルエクイティ

多くの人々が豊かに生活するうえで必要とする、教育、仕事、医療の機会を失っているデジタル格差を解消する総合的なソリューションの始動と革新を主導します。デジタルインクルージョンを推進して、生活と地域社会を変革します。



# HPのロードマップ

私たちは、業界で最も包括的な目標に向かって努力することにより、責任を遂行しています。

## 2025年までに

### 気候行動

- HPの業務で、カーボンニュートラルと廃棄物ゼロを達成<sup>2</sup>
- グローバルの業務で、再生可能エネルギー100%を達成

### デジタルエクイティ

- 1億人の人々の学習成果の向上を実現

## 2030年までに

### 気候行動

- サプライ品ビジネスでカーボンニュートラルを達成
- HPの全バリューチェーンの温室効果ガス排出量を50%削減<sup>3</sup>
- 製品と梱包材の循環利用率75%を達成<sup>4</sup>
- HPブランドの用紙と紙製梱包材に関連する森林破壊ゼロを維持<sup>5</sup>
- HPの製品とプリントサービスで使用されるHPブランド以外の用紙による森林破壊を防止<sup>6</sup>

### 人権

- HPの幹部職で50対50のジェンダー平等を達成<sup>7</sup>
- 技術職およびエンジニア職における女性の割合30%以上を達成
- 米国の労働市場における人種や民族的マイノリティの構成と同等またはそれを超える人員構成を達成
- 毎年、全社員構成の社内インクルージョン指標で90%超を維持<sup>8</sup>
- テクノロジー業界の過小評価グループに選ばれる企業として普遍的な評価
- 100万人の従業員に従業員エンパワーメントプログラムを提供
- HPの主要な契約生産サプライヤーおよびリスクの高い二次サプライヤーの100%に労働関連の人権<sup>9</sup>の尊重を保証

### デジタルエクイティ

- 1億5000万人のデジタルエクイティを加速

## 2040年までに

### 気候行動

- HPのバリューチェーン全体で温室効果ガス排出量ネットゼロを達成



## HPは目指します

新たな機会の時代-  
それは、気候変動を防ぎ、  
人権が普遍的に保護され、  
デジタルエクイティにより  
あらゆる人々に平等な機会  
が与えられる時代です。





人權



私たちは、インクルーシブで公平かつ力を与える企業文化と、HPだけではないあらゆる人権のためのプラットフォームを創造できると確信しています。

HP [Racial Equality and Social Justice Task Force](#) により、人種平等におけるサステナブルインパクトを前進させるため、企業として最大の機会を特定し、行動を推進しています。

私たちは、社員とお客様のプライバシーと個人情報の保護に全力で取り組んでいます。詳細は、[Privacy Web](#)サイトをご覧ください。

強化されたHPの[Human Rights Policy](#)により、人権を守り、権利者と関わり、HPのビジネスとバリューチェーン全体に私たちのアプローチを組み込むという取り組みを推進します。

HPは、以下の組織の基準で示される人権を尊重します。



2030ビジョン

人権

強力なダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの文化を創造します。

私たちのエコシステム全体で人権、社会正義、人種とジェンダーの平等を推進し、すべての人々の水準を引き上げます。



詳細は、[HP 2020 HUMAN RIGHTS UPDATE](#)をご覧ください。





# サプライチェーンを通じてインパクトを推進

包括的な社会的・環境的責任プログラムを通じて、HP製品を市場へ投入することに携わるすべての人々が威厳と敬意をもった扱いを受けるよう、サプライヤーの皆様と共に持続可能な未来が創造できるよう努めてまいります。

2020年

**46,000人**

5つのプログラムに参加した、サプライヤーの工場社員数

**95%**

HPの生産サプライヤーの総支出に占める、社会的・環境的評価を実施したサプライヤーの割合

**13%**

HPのサプライチェーンサステナビリティプログラムへの参加増加率（2015年比）



2019年<sup>10</sup>

**39%**

科学的根拠に基づく気候目標を報告した一次生産サプライヤーの割合

**92%**

年末までに水資源の管理目標を設定したサプライヤーの割合（支出額ベース）

**94%**

温室効果ガス排出量削減目標を報告した一次生産サプライヤーの割合（支出額ベース）

**78%**

再生可能エネルギーの使用を報告した一次生産サプライヤーの割合（支出額ベース）



**持続可能なサプライチェーンへの取り組み**はこちら。



## HPのビジネス全般で インクルージョンを 促進

HPでは、活動のあらゆることにダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンを組み込み、テクノロジー業界における人種平等と社会正義の先進ブランドになることを目指しています。

インクルーシブデザイン: まざまなニーズに合わせて製品を設計することで、革新的なテクノロジーが世界中の人々の原動力になるよう支援します。

**2020年、私たちは意欲的な目標を新たに設定しました。**

**2倍**: 2020年を基準として、2025年までに米国内のエグゼクティブ (VPレベル以上) に占める黒人/アフリカ系アメリカ人の人数を2倍にします。

**2倍**: 2020年を基準として、2025年までに米国内の技術者に占める黒人/アフリカ系アメリカ人の人数を2倍にします。

**米国を拠点とするサービスサプライヤーを対象として、サプライチェーン内のダイバーシティを推進します。**

**HPのサプライヤーダイバーシティ支出の10%** (米国内) が黒人/アフリカ系アメリカ人のサプライヤーに充てられる予定です。

**HPサプライヤーのアカウントマネージャーの10%**が、2022年までに黒人/アフリカ系アメリカ人になる予定です。



# テクノロジー業界における平等を加速

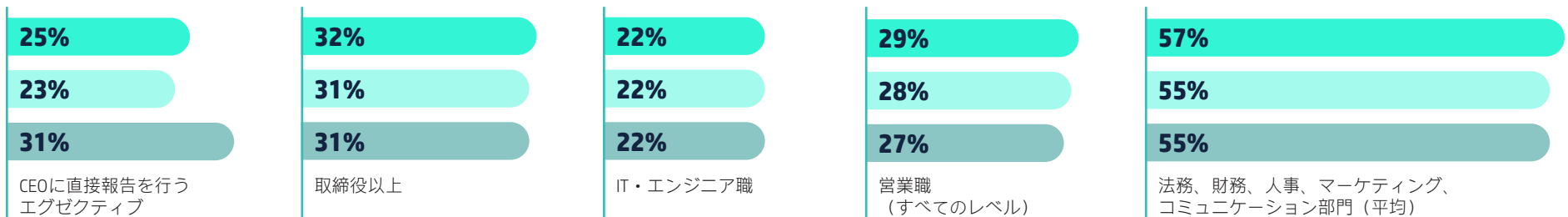
HPでは、ダイバーシティの力を活用してイノベーションを促進しています。HPの取締役会は、米国のテクノロジー企業でトップレベルの多様性を誇り、エグゼクティブ職の女性比率についてもテクノロジー企業でトップレベルです。

**賃金の平等**: 性別、人種、その他の個性に関係なく、何を、どのように行っているのかに対して、正当な対価を受けるべきであると考えています。

HPの人員構成の概要<sup>11</sup>

● 2020年      ● 2019年      ● 2018年

## 女性の比率



## 取締役会

### 女性

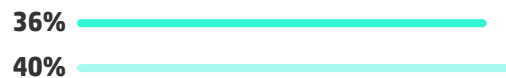


### マイノリティ



## 新規採用者

### 女性



### マイノリティ



## サプライチェーン

# 10億ドル

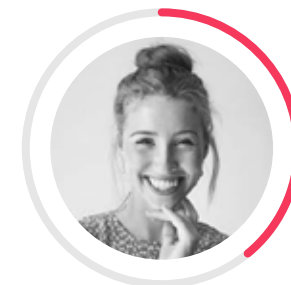
HPのサプライヤーダイバーシティプログラムがもたらした経済効果 (2019年から43%増)<sup>12</sup>





# 人材への投資

**社員の育成:** 人材育成は、HPを改革および再生する取り組みを支え、社員が成長して発展できる最適な環境を作り出します。HP社員の才能、多様性、推進力はHPの成長を促進し、私たちは社員のキャリアの成長に投資します。また、私たちはインクルーシブな文化を誠心誠意サポートし、成長の理念を実践して、ビジネスのイノベーションと可能性を切り開いています。



**41%**のHPの求人  
社内公募制度で充足



**99%**の対象社員に、目標に基づいた多面的な業績評価を実施

2020年

**98%**の社員が教育・開発プログラムに参加



**69%**の上級管理職を社内リーダーが充足



**85%**の社員が、年間を通じてフィードバックを受け取ること  
でパフォーマンスを向上させる  
ことができていると実感<sup>13</sup>



## 従業員の エクスペリエンス

HPでは、意見の重視とコミュニケーションを取り組みの中心として、人材の育成、企業文化の向上、従業員エクスペリエンスの形成を図っています。

**2020年、社員の96%が毎年行われるボイスインサイトアクションのアンケートに参加しました。**

**95%**

HPはダイバーシティを大切にしていると回答した割合

**88%**

職場で自分らしくいることができるかと回答した割合

**92%**

HPは社会的および環境的な責任を果たしていると回答した割合<sup>14</sup>

**83%**

HPは社員の教育と能力開発を積極的にサポートしていると回答した割合



氣候行動



## HPは、テクノロジー業界で トップレベルの積極的で包括的な 気候目標を設定しました。

気候変動は世界的な脅威であり、その原因に対して最も責任の少ない最も脆弱な人々に著しく偏って影響しています。科学的根拠は明らかであり、かつてないほど緊急に行動が必要です。極めて重要なこの10年間に私たちが社会として下す決定は、21世紀以降の未来に私たちが進む道筋に影響を与えます。

HPを変革してより効率的な循環型のネットゼロカーボン経済を推進することが、気候変動によって引き起こされる緊急課題に対処する方法であり、HPのサステナブルインパクト戦略の中核です。

2020年、HPは7度目のCDP気候変動Aリスト企業に選ばれるとともに、気候、森林、水、サプライヤーエンゲージメントリーダーの4つの分野でAスコアを獲得した唯一の企業です。

### 2030ビジョン

#### 気候行動

業界で最も持続可能な製品とソリューションのポートフォリオを構築しながら、炭素排出量ネットゼロの完全再生型経済に向けて推進します。



詳細はこちら [HPの気候行動](#)



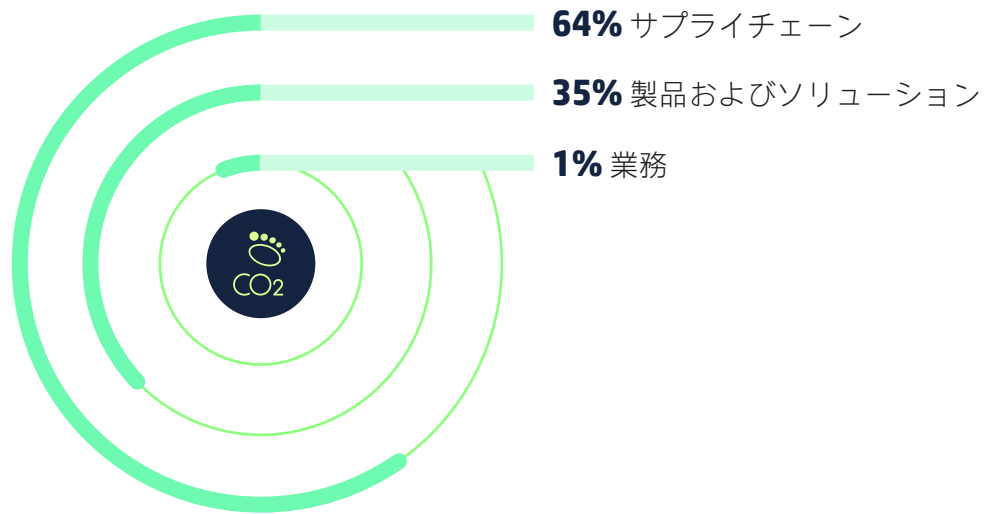


# フットプリントの削減

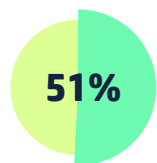
HPではバリューチェーン全体で、気候への影響を軽減するための取り組み、再生可能エネルギーへの投資、公的で科学的根拠に基づく温室効果ガス排出量削減目標の設定、透明性のある進捗報告を行っています。さらに、私たちはパートナーと協力して、America Is All InやCenter for Climate and Energy Solutionsの気候行動に関する声明を支援するなど、より広範な変革を推進しています。

投資家などのステークホルダーのニーズに適切に対応するため、今年には気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の指標をレポートに追加しました。

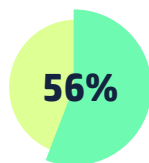
## 2020年の カーボンフットプリント



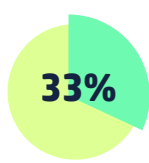
### ~ 2020年



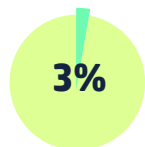
グローバルの業務で利用された再生可能エネルギーの割合



2015年比で、業務において削減したスコープ1とスコープ2のCO<sub>2</sub>e排出量の割合



2015年比で、HP製品使用時に削減した温室効果ガス排出原単位の割合<sup>15</sup>



2015年比で、一次生産サプライヤーと製品輸送関連で削減した温室効果ガス排出原単位の割合<sup>16</sup>



2010年以來、サプライチェーンで回避したCO<sub>2</sub>e排出量<sup>17</sup>

**2020年のHPのカーボンフットプリント**は、2019年と比べて4%減の44,890,100トンのCO<sub>2</sub>eでした。製品使用に関連する温室効果ガス排出量の13%減少は、製品製造に関連する5%の増加を相殺する以上の効果がありました。なお、製品製造時の排出量増加の一因として、新型コロナウイルス感染症により製品ラインの販売に影響 (特にパーソナルシステムの販売が増加) があったことがあげられます。



## 循環型経済の推進

HPのビジョンは、サービスモデルを活用した完全な循環型企業になることです。私たちは、2030年までに製品と梱包材の循環利用率75%<sup>18</sup>の達成を目指すとともに、メンテナンス、アップグレード、修理、革新的なサービスベースのビジネスモデルを通じて製品寿命を延ばしています。さらに、サービス終了時にはすべての製品の再利用または回収にも努めています。私たちの目標は、100%再生可能エネルギーを利用し、製造時の廃棄物ゼロを達成することです。

**HPがリード**：HPは、1991年にHPプラネット・パートナーズ製品リサイクルプログラムを設置して以来、数十年にわたってクローズドループプラスチックリサイクルをリードしてきました。2020年までに、再生HPカートリッジを含む累計125,000トンの再生プラスチックを使用して、49億本を超える純正HPカートリッジとSamsungカートリッジを製造しました。これにより、9億1600万本の純正HPカートリッジ、推計1億2700万本の衣料用ハンガー、50億本の使用済みペットボトルを埋め立てず、リサイクルして継続利用しています。

### 85%超

4～75%の使用済みリサイクル材料を使用している純正HPインクカートリッジの割合

### 100%

1～75%の使用済みまたは産業廃棄物リサイクル材料を使用している純正HPトナーカートリッジの割合<sup>19</sup>



# 循環利用への取り組み

**170万ポンド**のオーシャンバウンド・プラスチックをHP製品に使用。

**20万エーカー**の森林を再生して保護、または責任ある管理に移行。

**41%の循環利用** (重量) の材料をHPの製品と梱包材に使用 (2020年に再生可能かつ持続可能な方法で調達)。<sup>20</sup>

**34,200トン**の再生プラスチックをHPの製品と梱包材に使用 (全使用材料の4%)。<sup>21</sup>

## 自然体系の再生

パートナーシップにより、海洋プラスチック汚染への取り組みと世界の森林の保護と再生に重点を置きながら、生命を維持する自然体系を積極的に強化しています。

## 製品と原材料を長期間使用

製品を長寿命で設計するとともに、顧客価値を向上させ環境への影響を低減するサービスベースのソリューションを提供し、サービス終了時に製品と原材料を回収して、修理、再利用、リサイクルしています。

**531万台**のハードウェアを修理。

**642,300トン**のハードウェアとサプライ品をリサイクル。

**128万台**のハードウェアを中古販売・リユース。

HPが開始した体系的な取り組み

## 廃棄物を削減し責任ある原材料を使用

材料効率を上げ、リサイクル材料の使用を増やし、有害物質を排除しています。

## ネットゼロカーボンの未来を創造

製品のエネルギー効率を高めてお客様のエネルギー消費量を減らし、製品使用時の炭素と水のフットプリントを削減します。

**138万トン**のサプライチェーンCO<sub>2</sub>e排出を回避。

**33%** - 製品使用時に削減した温室効果ガス排出原単位の割合。

**51%の再生可能エネルギー**をグローバルの業務で利用。



## プラスチック 廃棄物に対する 取り組み

HPは2016年以降、ハイチのパイロットプログラムを通じて、海洋に流出するプラスチックの削減に取り組んでいます。この取り組みにより、すでに6,000万本以上のペットボトルの水路や海への流出を防止しました。HPは2020年、200万ドルを投じてハイチにプラスチック洗浄ラインを開設し、純正HPインクカートリッジやHPの最も持続可能なPCポータフォリオなどのHP製品で使用されるクリーンで高品質の再生プラスチックを製造しています。

**私たちのインパクトを拡大するため**、HPは2020年にProject STOPに参加しました。このプロジェクトは、東ジャワでの循環型廃棄物管理システムの構築と、非公式な廃棄物収集に従事する人々を含む所得創出の機会を支援することを目的としています。

2020年4月、HPはULと協力して、初のオーシャンバウンド・プラスチックに対する認証の開発に携わりました。



**HPのプラスチック戦略**および「世界初」のオーシャンバウンド・プラスチックでできた製品の詳細をご覧ください。





# 世界の森林の 保護と再生

健全で回復力のある森林は、HPのビジネスの将来にとって不可欠です。2019年に私たちは、プリンティングのためのフォレストポジティブな未来を創造するという戦略を支援するHP Sustainable Forest Collaborativeを立ち上げました。2020年には、Arbor Day Foundation、Chenming Paper、Domtar、New Leaf Paper、International Paperが、HP Sustainable Forests Collaborativeに参加しました。

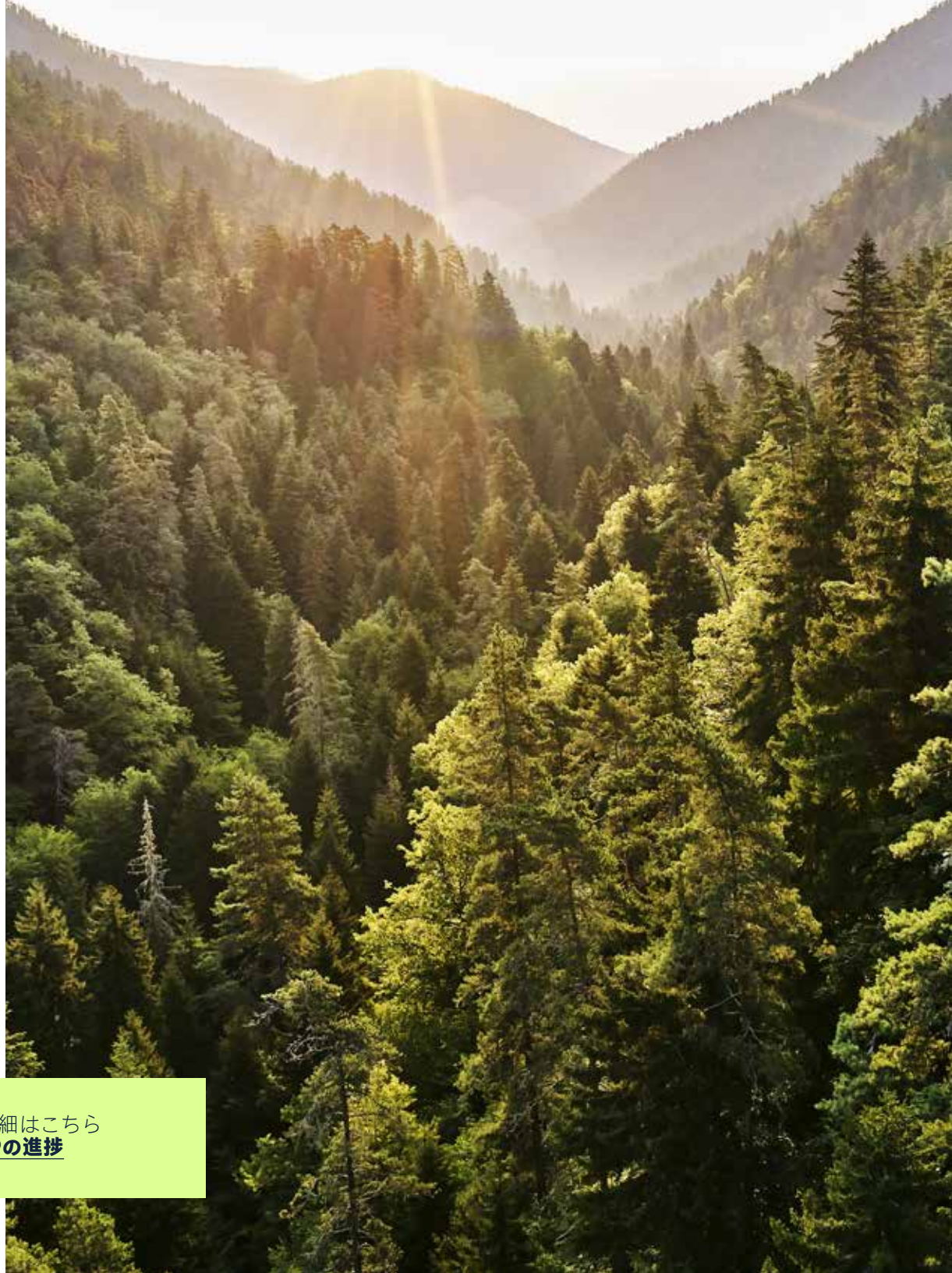
HPブランドの用紙については2016年より、紙製製品梱包材については2020年より、森林破壊ゼロの目標を達成しています。<sup>22</sup>

2019年にHPは、危機に直面しているブラジルの大西洋岸森林の一部の再生や、中国の国有林および私有林のプランテーションの管理を改善するWWFの取り組みを支援するため、1,100万ドルの支出を約束しました。この取り組みにより、最終的には20万エーカーの森林を再生、保護、責任ある管理に移行させることになります。

さらに、私たちは世界経済フォーラムの「1t.org」プロジェクトに参加し、HP社員1人あたり1本植樹するなど、Arbor Day Foundationとの取り組みを通じて100万本の木を植樹しました。



詳細はこちら  
[HPの進捗](#)





デジタルエクイティ



デジタルエクイティの達成は、教育や医療、経済的な機会の獲得を含む基本的人権の行使に不可欠です。

デジタルエクイティとは、単にパソコンやインターネットを利用できることを指すではありません。デジタルエクイティでは、テクノロジーを最大限に活用するために、ハードウェアやインターネットなどへの接続に加えて、質の高い適切なコンテンツへのアクセスやデジタルリテラシーの習得が必要です。

HPのPartnership and Technology for Humanity (PATH) の取り組みを通じて、私たちは成人女性や女兒、有色人種や少数民族の地域社会、教師や専門家、障害を持つ人々が必要なテクノロジーを利用し、彼らの意見が取り入れられるとともに公平に参加できる世界への道を開く手助けをしたいと考えています。

 2030ビジョン

#### デジタルエクイティ

多くの人々が豊かに生活するうえで必要な教育、仕事、医療の機会を失っているデジタル格差を解消する総合的なソリューションの始動と革新を主導します。デジタルインクルージョンを推進して、生活と地域社会を変革します。



詳細はこちら  
[HPのデジタルエクイティ](#)





# グローバル教育 を受けられる 環境づくり

教育は基本的人権であり、持続可能な開発の基盤です。HPのグローバル教育プログラムとテクノロジーソリューションは、人々があらゆる場所で教育を受けられることを重視しています。女兒、成人女性、世界で最も脆弱で疎外された地域社会の教育の機会の創出に焦点を当てています。

## 5,000万人超の 学生と成人学習者

HPの教育プログラムとソリューションを受けた人数 (2015年初以降)

## 15万5,000人の 新規ユーザー

2020年にHP LIFEを通じて教育を受けた人数 (2019年比210%増)

## 500万人の学生と教師

「Girl Rising」とHPの長年にわたるパートナーシップを通じて教育を受けた人数





## 健康増進のための イノベーション

HPのPCおよびプリンティングソリューションのヘルスケアポートフォリオから、3Dプリンター製のパーソナライズされた人工装具まで、HPのイノベーションは医療・ヘルスケア分野固有の課題への対応に重点を置いています。HPのソリューションは、医師による患者の治療結果の改善や効率化、サービスの行き届いていない人々への医療提供の強化を支援するように設計されています。

**3Dプリンティングの進歩**により、ヘルスケアおよび医療機器への革新的なアプローチが可能になります。HPのテクノロジーは、外科手術、高度にカスタマイズされた歯科矯正装置用モールド、オーダーメイドの矯正器具や人工装具の計画に役立つ解剖模型の作成、幅広い医療機器の製作に利用されています。[詳細はこちらをご覧ください。](#)

HPは、顕微鏡レベルで流体を操作することに**数十年の経験があり**、この技術のがんの発見に役立っています。私たちのMicrofluidics and Systems Technology Labのチームは、希少がんの細胞を分離するための新技術の開発に取り組んでいます。この技術は、個別治療や治療後のがん細胞の発見の助けとなる可能性があります。[詳細はこちらをご覧ください。](#)



## 地域社会への インパクトの推進

HPには、目的意識を持つ企業およびグローバル企業市民としての役割があります。私たちはスキル、テクノロジー、パートナーシップ、資金を提供して、地域社会の回復力と活力を強化し、テクノロジーを通じてさらに大きな経済的および社会的機会につなげます。

2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた人々に救援と支援を提供することがもっとも重要な取り組みでした。HPは1,386万ドルの製品を寄贈し、HP財団はパンデミックの影響を受けた地域社会の支援を目的として300万ドルを寄付しました。寄付の内訳は、重要な医療用品の提供に100万ドル、より広範な支援に200万ドルでした。HP財団はまた、HP LIFEプログラムを拡大して、学校閉鎖やテクノロジーを利用できないことによって教育が中断された世界中の学生や学習者に教育を提供しました。



2020年

**1,757万ドル**

HPとしての寄付  
(寄付金および製品)

**988万ドル**

HP財団による寄付

**12万7,000  
時間**

6,650人の社員による  
ボランティア時間

**265万ドル**

社員による寄付

**1万400時間**

「40 Days of Doing Good」  
の期間に費やしたボラン  
ティア時間 (112のプロ  
ジェクトをサポート)。



# 地域のコミュニティへの貢献

2020年のハイライト

## ブラジル

意欲的な起業家に機会を提供するHP LIFEは、2020年に大きく規模を拡大しました。ブラジルでは、7月だけで7,000人の学習者が参加し、中小企業への無料リソース提供を含む支援活動が成功していることが示されました。



## 米国

HPは、教育のための世界経済会連合およびComp-U-Doptと提携して、学校閉鎖の影響を受けた学生に機器を提供しました。2020年8月までに、シカゴ、ダラス、ヒューストンで教育を受けられるようにするため、80万ドルのテクノロジーと資金を寄付しました。

←写真提供：COMP-U-DOPT

## ロシア

ロシアのHPチームは、モスクワの学校で生物や物理などの科目を教えるためのVRテクノロジーや新しいノートパソコンなどを備え、HP Latexテクノロジーで設計された壁を使用した「HP Learning Studio」の構築を支援しました。



## インド

HP社員であるSumit Tiwaryは、自主隔離中のバンガロール市民を支援するボランティアの取り組みを調整するためのアプリを開発しました。2021年2月の時点で、ボランティアたちは市内全域で4万2,000人の市民を支援しました。



## チュニジア



2016年以来、2万7,722人のチュニジア人がMashrou3iを通じて23万ものHP LIFEコースを修了しました。Mashrou3iは、HP財団、チュニジア政府、USAID、Italian Cooperation、UNIDOの間のパートナーシップであり、4,500人の雇用を生み出しています。

←写真提供：UNIDO

## ドバイ

Intelとともに、ドバイ・テクノロジー・アントレプレナーキャンパス (DTEC) に最初のHP Innovation Garageを立ち上げ、若者がテクノロジー、デザイン、プロトタイピングのスキルを身に付けるとともに、3つの学習ゾーン (アントレプレナー、バーチャリアリテイ、STEAMとロボット工学) を通じてキャリアパスを探索できるように支援しました。最初の4か月間に開催された仮想ワークショップやウェビナーには、3万3,000人の教育者や学生などが参加しました。

## トルコ

HPトルコは、非営利団体ERTEVと協力して、2020年以降、HP Maker BusとHP Maker Digital Platformを利用して、コーディング、ロボット工学、3Dスキル構築などのSTEM学習で2,000人以上の子供たちに教育を提供しています。











「私たちを取り巻く世界では変化のスピードが加速しているため、私たちが望む未来を創造するには、私たちの努力も加速しなければなりません。」













社長兼CEO エンリケ・ロレス



# 目標と進捗

HPの2025年の目標に向けて進捗を追跡

人権に対する目標	2020年の進捗	国連のSDGs	進捗
2025年までに、2015年初めから計算して50万人の工場社員のスキルを向上し、ウェルビーイングを改善。	2015年初めから計算して、31万2,000人のサプライヤーの工場社員がプログラムに参加しました。 <sup>23</sup> <a href="#">詳細はこちら</a> 。	 	
2025年までに、サプライチェーンにおけるサステナビリティプログラムに参加する工場を、2015年比で2倍に。 <sup>24</sup>	参加する工場が2015年比で13%増加しました。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。	 	
現役のHP社員と取締役会の間で、HPにおける人権・倫理トレーニングへの年間参加率99%超を維持。	上級管理職を含む社員の99.1%および取締役会のすべてのメンバーが、HPにおける人権・倫理トレーニングを修了しました。 <sup>25</sup> <a href="#">詳細はこちら</a> 。		

気候行動に対する目標	2020年の進捗	国連のSDGs	進捗
<b>製品とサービス</b>			
2025年までに、HPのパーソナルシステムズおよびプリンティング製品ポートフォリオ全体で使用される再生プラスチックの割合を30%に。 <sup>26</sup>	2020年、HPパーソナルシステムズおよびプリンティング製品に、プラスチック全体の11%にあたる2万7,490トンの再生プラスチックを使用しました。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。	 	
2025年までに、2018年比で使い捨てプラスチック梱包材の75%を削減。 <sup>27</sup>	2020年、19%の削減を達成しました。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。	 	
2025年までに、2015年比でHP製品使用時の温室効果ガス排出原単位を30%削減。 <sup>28</sup>	2020年末までに、33%の削減を達成しました。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。	  	
2025年までに、2016年初めから計算して120万トンのハードウェアとサプライ品をリサイクル。	2020年末までに、64万2,300トンのリサイクルしました。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。		

 <b>気候行動に対する目標</b>	<b>2020年の進捗</b>	<b>国連のSDGs</b>	<b>進捗</b>
<b>サプライチェーン</b>			
2020年までに、HPブランド用紙・紙製梱包材に関連する森林破壊ゼロを達成。 <sup>29</sup>	HPブランド用紙および紙製梱包材の99%で森林破壊ゼロを達成しました。残りの1%でも、報告された繊維利用がHPのSustainable Paper and Wood Policyに適合していることが確認されました。 <sup>30</sup> <a href="#">詳細はこちら</a> 。	 	
2025年までに、一次生産サプライヤーと製品輸送関連の温室効果ガス排出原単位を2015年比で10%削減。 <sup>31</sup>	2019年12月までに(利用可能な最新データ)、温室効果ガス排出原単位は、2015年比で3%減少しました。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。		
2010年から2025年の間に、サプライヤーが二酸化炭素換算(CO <sub>2</sub> e)排出量を200万トン削減することを支援。 <sup>32</sup>	2020年、サプライヤーは138万トンのCO <sub>2</sub> e排出を削減しました。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。		
<b>業務</b>			
2025年までに、HPの業務で再生可能エネルギーを100%利用。 <sup>33</sup>	HPのグローバルの業務で24万3,661MWhの再生可能エネルギーを調達、発電しました。これはグローバルの業務における電力消費の51%に相当します。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。	 	
2025年までに、グローバルの業務におけるスコープ1とスコープ2の温室効果ガス排出量を2015年比で60%削減。 <sup>34</sup>	HPのグローバルの業務で、スコープ1およびスコープ2のCO <sub>2</sub> e排出量は、2015年比で56%減の17万1,000トンでした。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。		
2025年までに、グローバルの業務における飲用水の消費量を2015年比で35%削減(危険性の高い地域で重点的に対応)。	飲用水の消費量は、グローバルで232万7,000立方メートルに相当し、2015年比で27%減りました。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。	 	
<b>デジタルエクイティに対する目標</b>			
2025年までに、2015年初めから計算して1億人以上より良い学習成果を提供。	2015年初めから計算して、5,030万人以上の学生と成人学習者に対してHPの教育プログラムとソリューションを通じて教育の質とデジタルリテラシーを向上させ、より良い学習結果を提供しました。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。	 	
2016年から2025年の間に、HP LIFEの登録ユーザーを100万人に。	2016年以来、37万人のユーザーがHP LIFEのコースに登録しています。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。	  	
2025年までに、社員によるボランティア時間を150万時間提供(2016年初めからの累計)。	2020年、HP社員は現地でのプロジェクトに55万6,000時間のボランティア時間を提供しました。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。	 	
2025年までに、HP財団および社員による寄付1億ドル <sup>35</sup> を提供(2016年初めからの累計)。	HP財団および社員による寄付は、2020年までに5,512万ドルに達しています。 <a href="#">詳細はこちら</a> 。	 	

# 透明性と報告

HPは2001年以降、社会的および環境的な取り組みの進捗について毎年報告しています。

私たちは、お客様、業界アナリスト、社会的責任投資家、非政府組織 (NGO)、社員、サステナビリティ専門家、政府などのステークホルダーに詳細な情報を提供しています。



レポート内容の決定には、  
以下を考慮しています。

**HPの重要課題**評価

**社内情報** - HP全体のエグゼクティブおよび内容  
専門家からの情報

**外部情報** - ステークホルダーからの情報

**幅広いサステナビリティの状況**と傾向

**外部基準**とフレームワーク - Global Reporting Initiative (GRI) のSustainability Reporting Standards、国連 (UN) グローバル・コンパクト、国連の持続可能な開発目標、Sustainability Accounting Standards BoardのHardware Sustainability Accounting Standard、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)、世界経済フォーラム国際ビジネス評議会 (IBC) のステークホルダー資本主義指標など

**グローバルな報告の傾向**とベストプラクティス

# 将来予想に関する記述

**この文書には**、リスクと不確実性を含む現在の期待と仮定に基づく将来予想に関する記述が記載されています。リスクや不確実性が現実のものとなった場合または仮定が正しくないと判明した場合、HP Inc.およびその連結子会社(「HP」)の業績は、そのような将来予想に関する記述および仮定によって明示あるいは黙示されたものとは大きく異なる場合があります。

歴史的な事実に関する記述を除くすべての記述は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の潜在的な影響とそれに対応する政府、企業、個人の行動に関する記述を含むが、これらに限定されない、将来予想に関する記述と見なされる可能性があり、これには、純売上高、マージン、費用、実効税率、純収益、1株当たり純収益、キャッシュフロー、福利厚生制度の資金調達、繰延税金、株式の買戻し、外国為替レートまたはその他の金融項目の予測、当社のビジネスモデルと変革、持続可能性の目標、市場参入戦略、リストラ計画の実行および結果として生じるコスト削減、純売上高または収益性の改善、またはその他の財務的影響を含むが、これらに限定されない、コスト削減またはリストラおよびその他の費用、計画された構造的コスト削減、生産性イニシアチブの金額、タイミング、または影響の予測、将来の事業のための管理の計画、戦略、目的の記述、製品またはサービスに関連して予期される開発、業績、市場占有率、または競争力に関する記述、現在または将来のマクロ経済の傾向または事象、およびその傾向や事象がHPおよびその財務実績に与える影響に関する記述が含まれます。将来予想に関する記述は、一般的に、「将来」、「予想する」、「信じる」、「推定する」、「予期する」、「意図する」、「計画する」、「予測する」、

「企画する」、「なる」、「かもしれない」、「可能性がある」、「できる」、「ことがある」、および類似の単語で識別されています。

リスク、不確実性、および仮定には、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響とそれに対応する政府、企業、個人の行動に関する要因が内在し、その影響により、以下に記載される要因の多くに関連するリスクを付与または増幅させる可能性があります。以前に発表されたイニシアチブ、ビジネスモデルの変更、変革、計画された構造的コスト削減および生産性イニシアチブの実行を含む戦略的計画を実行するHPの能力、企図された株式の買戻し、その他の資本還元プログラム、またはその他の戦略的取引を完了するHPの能力、HPのビジネスが直面する多くの課題に対処する必要性、HPのビジネスが直面する競争圧力、HPの戦略およびビジネスモデルの変更と変革の実施に関連するリスク、進化する流通および再販業者の状況において、オンライン、オムニチャネル、契約販売を含むHPの市場参入戦略の成功裏の革新、開発、実施、顧客のニーズを満たし、新たな技術トレンドに対応するための新しい製品およびサービスの開発と移行および既存の製品とサービスの強化、消耗品を含むHP製品の価値提案の成功裏の競争と維持、サードパーティサプライヤーの管理、HPのグローバルなマルチティア流通ネットワークの管理、HPのチャネルパートナーによる価格設定プログラムの誤用の可能性の制限、新市場または変化する市場への適応、HPのサービスの効果的な提供の必要性、HPのマルチティアチャネル、HP製品の無許可の再販業者への販売、またはHP製品の無許可の再販などが原因となる在庫、需要、価格を正確に予測するHPの能力への課題、企業合併

および投資取引に関連する統合およびその他のリスク、コストに関連する見積もりと仮定(HPのビジネスの途絶の可能性を含む)と、リストラ計画の予想される利益を含む、リストラ計画の結果、第三者からライセンス供与された知的財産を含む、HPの知的財産資産の保護、主要な社員の雇用と保持、マクロ経済および地政学的な傾向と事象の影響、HPの国際事業に関連するリスク、HPおよびそのサプライヤー、顧客、クライアント、パートナーによる契約の実施と履行、システムのセキュリティリスク、データ保護違反、サイバー攻撃、極端な気象条件、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行などの医学的な伝染病のまん延または世界的大流行、およびその他の自然災害または人為的な災害または壊滅的な事象による事業の途絶、環境規制および税法を含む、連邦、州、現地および外国の法律および規制の変更の影響、保留中の捜査、クレーム、または紛争による潜在的な影響と責任と費用、その他、HPの2020年10月31日締めめの会計年度のフォーム10-K年次報告、またはHPの他の米国証券取引委員会への報告に随時記載または更新されるリスク。

過去の期間と同様、税務関連の項目を含め、この文書に記載されている財務情報は、本書の作成時に入手可能な情報に基づく推定を反映しています。HPはこの推定を妥当だと信じている一方で、この金額が、HPの2021年7月31日締めめの会計四半期のフォーム10-Q四半期報告、HPの2021年10月31日締めめの会計年度のフォーム10-K年次報告、およびHPの他の米国証券取引委員会への報告と大きく異なる可能性があります。この文書の将来予想に関する記述は、この文書の日付の時点で行われたものであり、HPは義務を負わず、この将来予想に関

する記述を更新する意向もありません。HPのインベスターリレーションズのWebサイトinvestor.hp.comには、投資家向けの財務情報やその他の情報を含む、HPに関する詳細な情報が含まれています。情報は更新され、新しい情報も掲載されるため、投資家の方々には、都度、このWebサイトにアクセスすることを推奨しています。HPのWebサイトの内容は、参照としてこの文書に組み込まれておらず、他のレポートやSECのHPファイルの文書にも組み込まれていません。HPのWebサイトの参照は、消極的な文章の参考のみを目的としています。

# 巻末脚注

1 2020年、お客様からの社会的・環境的要件を満たすことで、もしくはHPのサステナビリティ・コンプライアンス組織および営利団体からの積極的サポートによって後押しされた新たな収益(合計契約額)11億ドルを確認しました。

2 廃棄物ゼロの業務: 2025年までにHPの全直接業務で、埋め立てる無害な廃棄物をなくします。HPが所有および管理する世界中のすべての拠点を含みます。廃棄物ゼロは、ULまたはTRUE認証基準で定められています。

3 2019年比のスコープ1、2、3の温室効果ガス排出量の絶対的な削減。製品の使用中に消費されたHP以外の用紙を除きます。

4 2030年までの、リサイクル材料および再生可能な材料と再利用された製品および部品に由来する材料の、HPの年間製品および梱包材の総含有量の重量による割合。

5 HPブランドの用紙・紙製梱包材は、Forest Stewardship Council® (FSC®)を優先して、認可供給源およびリサイクル資材由来です。梱包材とは製品に付属する箱と箱の中にある紙(梱包材やその他の原材料など)を指します。

6 繊維(重量)は、1) 厳格なサードパーティの基準により認定され、2) リサイクルされ、3) HPのForest Positive Frameworkを通じて、森林の再生、保護、およびその他の取り組みによって調整されます。紙には、HP Media Solutions Locatorのカタログに記載されていないHP業務用印刷機の繊維基板は含まれていません。

7 「幹部職」とは、HPでの取締役以上を指します。私たちは、性自認が世界の多くの地域で重要なテーマであり続けることを期待しています。将来的には、HPはより多くのデータを考慮に入れる可能性があり、女性として自認した人は50対50のジェンダー平等の目標に集計されます。

8 毎年、HP社員はボイスインサイトアクション(VIA)と呼ばれるアンケートに回答し、会社への帰属意識を含む全体的な従業員のエンゲージメントを理解するのに役立っています。

9 労働関連の人権は、現代の奴隷制、労働時間、賃金、安全と定義されています。公開された開示情報、義務付けられたデータ提出、認証、監査などの証拠と分析に基づく主要業績評価指標に基づいて保証します。

10 利用可能な最新データ。

11 2020年の取締役会データは2021年4月13日の2021年定時株主総会終了時のものです。2019年の取締役会データは2019年11月1日時点のものです。2018年の取締役会データは2019年1月31日時点のものです。その他のデータは、記載されている年の10月31日時点のものです。社員データは、正規のフルタイムおよびパートタイムの社員に関するものです。

12 HPのさまざまなサプライヤーとそのサプライチェーンによって生産された商品とサービス。

13 2020年ボイスインサイトアクション(VIA)のアンケートからのデータ。

14 データは、記述に強く同意または同意したHP 2020 Quick Clicks社員アンケートの回答者の割合を示します。15 HP製品使用による温室効果ガス排出原単位は、製品構成の変化とビジネスの成長を考慮に入れた、ポートフォリオのパフォーマンスを表します。HP製品使用時の温室効果ガス排出量は、予想される製品寿命までの使用の際に、排出原単位で測定します。この値は、次に、本年度の全体的な売上高に対するパーソナルシステムズとプリンティング製品の比重で計算されます。この排出量は、ノートパソコン、タブレット、デスクトップ、モバイルコンピューティングデバイス、ワークステーション、ディスプレイ、デジタルサイネージ、およびHP インクジェット、LaserJet、DesignJet、Indigo、Scitex、Jet Fusion 3Dプリンター、およびスキナーを含む、毎年出荷されるHP製品ユニットの99%以上です。HPは2020年に、プリンティング関連製品の使用段階の温室効果ガス排出量の計算方法を更新しましたが、過去数年との比較のため、引き続き当初の計算方法を使用してこの指標を計算しています。

16 排出量は、HPに起因する一次生産サプライヤーと製品輸送サプライヤーによって報告された温室効果ガス排出量を、HPの年間売上高で割って計算します。この方法は、ビジネスの生産性に基づいてパフォーマンスを正規化します。排出量は、年ごとのばらつきの影響を減らし、長期傾向を強調するため、3年間のローリング平均として報告されます。生産サプライ

ヤーの温室効果ガス排出量には、スコープ1とスコープ2が含まれます。

17 これは、2015年11月1日にHewlett-Packard Companyが分社化する前からの目標を引き継ぎ、2025年まで続きます。HP Inc.およびHP Inc.分社前のビジネスユニットに関連するサプライヤーからのデータが含まれます。

18 2030年までの、リサイクル材料および再生可能な材料と再利用された製品および部品に由来する材料の、HPの年間製品および梱包材の総含有量の重量による割合。

19 100%の純正HPトナーカートリッジに1~75%の使用済みまたは産業廃棄物リサイクル材料を使用しています。トナーボトルは含まれません。詳細は[hp.com/go/TonerRecycledContent](http://hp.com/go/TonerRecycledContent)を参照してください。85%以上の純正HPインクカートリッジに4~75%の再生プラスチックが使用されています。インクボトルおよびリストに掲載されていないその他の製品は含まれません。詳細は[hp.com/go/InkRecycledContent](http://hp.com/go/InkRecycledContent)を参照してください。

20 重量の合計は、HPの製品と梱包材に使用されている再生含有プラスチック、HPブランドの用紙と梱包材に含まれる再生繊維、およびHPブランドの用紙と梱包材に含まれる認証済みの持続可能な管理がなされた繊維に基づいています。

21 HP製品の再生含有プラスチックは、使用済みリサイクルプラスチックです。HP梱包材の再生含有プラスチックは、プレコンシューマープラスチックと使用済みリサイクルプラスチックの混合です。

## 巻末脚注

22 繊維の98%以上が再生または認証されており、残りの繊維は是正措置のステータスにあるかまたは免除されています。

23 2020年までの進捗には、2015年の7万7,800人、2016年の4万5,700人、2017年の11万9,900人、2018年の1万2,000人、2019年の1万1,000人、2020年の4万6,000人の工場社員が含まれます。2019年以前のデータには、生産サプライヤーの従業員のみが含まれています。2020年には、プログラムの範囲を拡大して、非生産サプライヤーの従業員とHPが管理する製造施設の従業員も対象としました。四捨五入のため、総計は各年のデータの合計と等しくありません。

24 このデータには、Responsible Business Allianceの監査への参加は含まれていません。「サプライチェーンサステナビリティプログラムへの参加」は、監査以外で、HP基準を満たすサプライヤーの能力を構築するプログラムによって数値化されます。これには、詳細な査定、労働指標の週次報告、HPのサプライヤーサステナビリティスコアカードによる調達エンゲージメント、サプライヤーのリスクに合わせた詳細な指導とワークショップが含まれます。

25 2020年4月1日以降にHPに入社する新規採用者を除きます(ただし、すべての新規採用者は、必須のオンボーディングプロセスの一環として、30日間でHP New HireトレーニングのIntegrityを完了する必要があります)。

26 報告年に出荷されたHPのすべてのパーソナルシステムズ、プリンターハードウェア、およびプリントカートリッジに使用されたプラスチック全体の割合としての再生含有プラスチック(RCP)。総量に、ブランドライセンス製品と販売後市場ハードウェア付属品は含まれません。総RCPには、HP製品で使用される使用済みリサイクルプラスチック、クローズドループプラスチック、オーシャンバウンド・プラスチックが含まれます。パーソナルシステムズのプラスチックは、EPEAT®環境ラベル基準で定義されています。リサイクルするまたはリサイクルされる原料を用途とした材料の使用と流通の関連制限の対象です。

27 出荷されたユニット当たりの1次プラスチック梱包材の減少率(重量)として計算されます。2次および3次梱包材成分を除いています。HPパーソナルシステムズおよびプリンターハードウェアの梱包材が含まれます。以下の梱包材を除いています。PageWide XLおよびDesignJetプリンター以外のグラフィックソリューションビジネス(GSB)ハードウェア、3Dプリントハードウェア、印刷用サプライ品、整備済み製品、およびサードパーティオプション、ドロップインボックス、販売後市場オプションなどの付属品。

28 HP製品使用による温室効果ガス排出原単位は、製品構成の変化とビジネスの成長を考慮に入れた、ポートフォリオのパフォーマンスを表します。HP製品使用時の温室効果ガス排出量は、予想され

る製品寿命までの使用の際に、排出原単位で測定します。この値は、次に、本年度の全体的な売上高に対するパーソナルシステムズとプリンティング製品の比重で計算されます。この排出量は、ノートパソコン、タブレット、デスクトップ、モバイルコンピューティングデバイス、ワークステーション、ディスプレイ、デジタルサイネージ、およびHPインクジェット、LaserJet、DesignJet、Indigo、Scitex、Jet Fusion 3Dプリンター、およびスキャナーを含む、毎年出荷されるHP製品ユニットの99%以上です。HPは2020年に、プリンティング関連製品の使用段階の温室効果ガス排出量の計算方法を更新しましたが、過去数年との比較のため、引き続き当初の計算方法を使用してこの指標を計算しています。

29 2020年までに、HPブランドの用紙・紙製梱包材は、Forest Stewardship Council®(FSC®)の認可供給源からのバージンファイバーを優先した、認可供給源およびリサイクル資材からの紙になります。梱包材とは製品に付属する箱と箱の中にあるすべての紙製の原材料を指します。

30 2020年12月時点において、HPブランドの用紙・紙製梱包材の99%は、認可供給源およびリサイクル資材からの紙です。梱包材とは製品に付属する箱と箱の中にあるすべての紙製の原材料を指します。商用製品、工業製品、3D製品、スキャナー、パーソナルシステムズの付属品、およびスペアパーツの梱包材は含まれません。

31 排出量は、HPに起因する一次生産サプライヤーと製品輸送サプライヤーによって報告された温室効果ガス排出量を、HPの年間売上高で割って計算します。この方法は、ビジネスの生産性に基づいてパフォーマンスを正規化します。排出量は、年ごとのばらつきの影響を減らし、長期傾向を強調するため、3年間のローリング平均として報告されます。生産サプライヤーの温室効果ガス排出量には、スコープ1とスコープ2が含まれます。

32 2015年11月1日にHewlett-Packard Companyが分社化する前からの目標を引継ぎ、2025年まで続きます。HP Inc.およびHP Inc.分社前のビジネスユニットに関連するサプライヤーからのデータが含まれます。33 2025年までに業務で再生可能電力を60%利用し、2035年までに100%を達成するという以前の目標から更新されました。

34 今後、これは、Science Based Targetsの取り組みによって検証されたあと、新しい目標に変更されます。この目標は、2025年までにカーボンニュートラルなHP業務を達成するというより広範なHPの目標をサポートします。

35 社員のボランティア時間の評価、社員の寄付、HP財団によるマッチング、およびHP財団の援助資金が含まれます。



keep reinventing

